

総合検診を終えて

七月三日から十日間にわたり、成人病総合検診を実施しました。

毎年行っているこの検診も今年は一、一四三人が受診しました。これは、昨年の九七六人に比べ増えています。

しかし、地区ごとに見ると、多少の差があるようです。四十歳以上の人口に対する受診率は、三吉地区が一番高く、

禾生、盛里地区が低いことがわかりました。

“あなたの検診結果はどうでしたか”

では、今年の結果をみてみましょう。図一のように、異常者の最も多いものは肥満、ついで血圧、コレステロール、心電図の順です。その他の検査項目での異常者は、一割弱であることがわかりました。

“三人に一人は肥満”

この肥満についてみると、受診者の三六・一%、つまり三人に一人という高率でありました。

では、肥満はどうしていけないのでしょうか。太った人はその分だけ、心臓をはじめ様々な臓器が、余計な負担を背負っているからです。そのため肥満の人は、糖尿病、高血

市民健康

づくりの集い

日時 9月13日(木)
午前9時30分～4時
場所 文化会館四階ホール
内容
○国保無受診世帯表彰
○「自己」の健康管理について
講師 竹居茂樹先生
○健康相談 医師・保健婦 栄養士
○乳ガン検診 磯部医師
出席者には、昼食の用意があります。

図1 昭和59年度 成人病総合検診結果

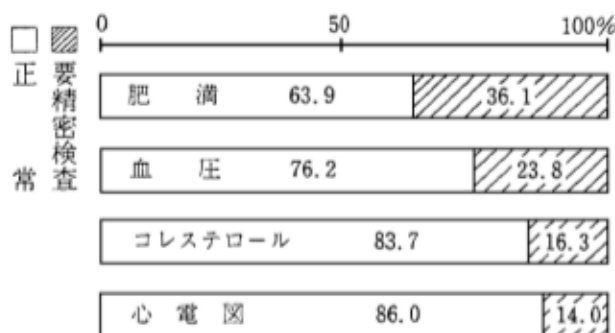
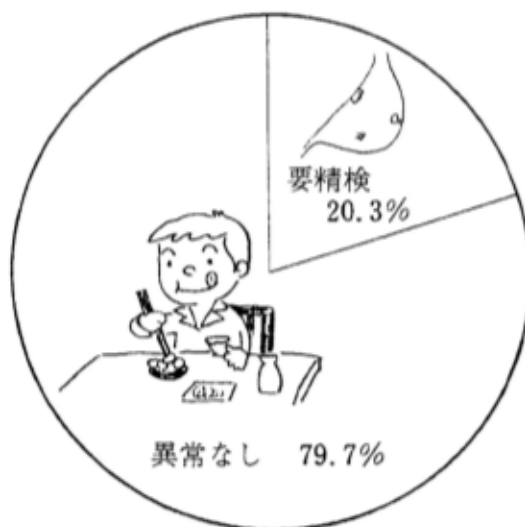


図2 昭和59年度 胃検診結果



圧、肝硬変等のあらゆる病気をこしやすくなります。ベルトが一センチ延びると寿命が一年縮む、と言われています。健康で、長生きをするためには、肥満を解消することが賢明です。

“あなたの胃は大丈夫でしたか”

胃検診は、八二二人が受診しました。これは、循環器検診受診者の一、一四三人に比べると、まだまだ少ないようです。

受診者についてみると、図二のようになります。要精密検査

者(精密検査の必要な人)は一六七人、つまり、五人に一人という結果でした。

検診は、自覚症状がなくても、まず、受けることが大切です。受けた結果、要精密検査と言われても、即異常ということではありません。人の体は常に一定ではないので、病気がかかっているかどうか、あるいは、病気の程度を、さらに詳しく調べる必要があります。「不安や、疑いを取り除いてもらおう」というくらい気持ちで、積極的に検診や精密検査を受けましょう。